

院長ごあいさつ



新型コロナウイルス感染症の流行に際しまして

コロナウイルス感染拡大で多くの制約が課されて、皆さまには社会的、経済的に多大な困難に直面しておられることを拝察致します。このような心理的な負担は心身機能に様々な悪影響を及ぼし、疾病を生む要因でもございます。このような背景から、今こそ当院の社会的役割の重大さを思い知らされます。

当院では、本年2月に本症のクラスターを発生させてしまい、3月25日によりやく終息宣言を発出することができました。その過程で味わった苦難の経験は、私たち職員にとって感染を未然に防ぐことの重要性を再認識させ、危機意識を大いに高めました。他方では、今後に活かすことができる実践的な感染防御技術を修得することができました。その結果、今後はコロナウイルス感染症を発生させないと職員一同が一致団結して取り組む所存でございます。

ところで、本症の終息には、今後、長年月を有する可能性があります。ワクチン接種が順調に進み、治療法が確立される可能性もありますので、明るい未来を信じて、鋭意、最新の知見（エビデンス）に基づいた地域医療を実践してまいります。

令和3年4月1日

医療法人 華頂会 琵琶湖養育院病院

院長 高橋 伯夫